

(19) 【発行国】日本国特許庁(JP)
(45) 【発行日】平成21年8月3日(2009.8.3)
(12) 【公報種別】意匠公報(S)
(11) 【登録番号】意匠登録第1366097号(D1366097)
(24) 【登録日】平成21年7月3日(2009.7.3)
(54) 【意匠に係る物品】化粧品用容器
(52) 【意匠分類】F4-710
(51) 【国際意匠分類(参考)】09-01、09-02、09-03、09-04、09-05、28-01

【Dターム】F4-710G、F4-710BBB

(21) 【出願番号】意願2008-21374(D2008-21374)

(22) 【出願日】平成20年8月21日(2008.8.21)

(72) 【創作者】

【氏名】堀 泰典

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(72) 【創作者】

【氏名】堀 元英

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(72) 【創作者】

【氏名】堀 敏子

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(72) 【創作者】

【氏名】堀 綾花

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(73) 【意匠権者】

【識別番号】593152384

【氏名又は名称】堀 泰典

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(73) 【意匠権者】

【識別番号】502304529

【氏名又は名称】堀 元英

【住所又は居所】三重県四日市市泊町7番6号

(74) 【代理人】

【識別番号】100108280

【弁理士】

【氏名又は名称】小林 洋平

【審査官】木村 恭子

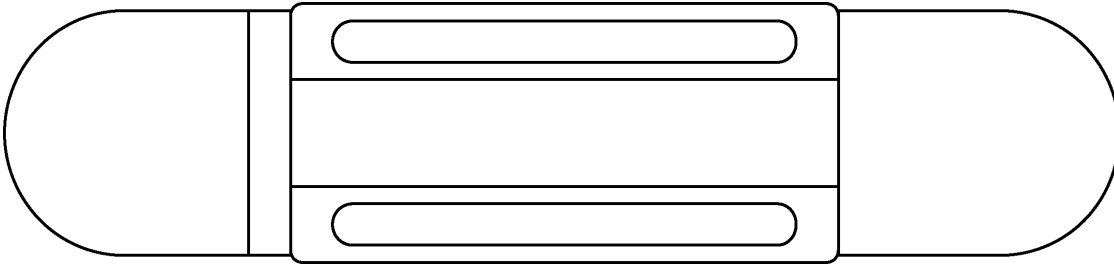
(55) 【意匠に係る物品の説明】本物品は、中央に内部を視認可能な透明な物質から構成されて液状化粧品を収容するとともに断面が略正八角形とされそれらの八面のうちの一つ置きの四面には左右方向に溝部が設けられた本体部材と、本体部材の右側には、開口を着脱可能に閉止する開口閉止部材と、スクリュウキャップと、蓋体とが設けられ、本体部材の左側には、開口を閉止するとともに弾性を備え押圧することにより本体部材の右側開口から内容液を滴下する弾性蓋部材と、弾性蓋部材を止めるスクリュウキャップと、蓋体とから構成される化粧品用容器である。また、本物品は、スポイトの機能を兼ね備えている。すなわち、本体部材の内部に貯められた液状化粧品を外部に出すためには、右側の蓋体とスクリュウキャップと開口閉止部材及び左側の蓋体を取り外した状態において、弾性蓋部材を押圧することにより、本体部材の右側開口から内部に貯留された液状化粧品の任意の量を滴下することができるので、当該容器を振り回す必要がない。この機能は、特に液状化粧品の粘性が高い場合には有効である。

(55) 【意匠の説明】参考右側面図は、本体部材の溝部を点線で示したものであり、参考正面図1は、本体部材の左右両側の蓋体の内部構成を点線で示したものであり、参考正面図2は、左側から蓋体とスクリュウキャップと弾性蓋部材と本体部材と開口閉止部材とスクリュウキャップと蓋体とに分離し、かつ本体部材以外の構成の

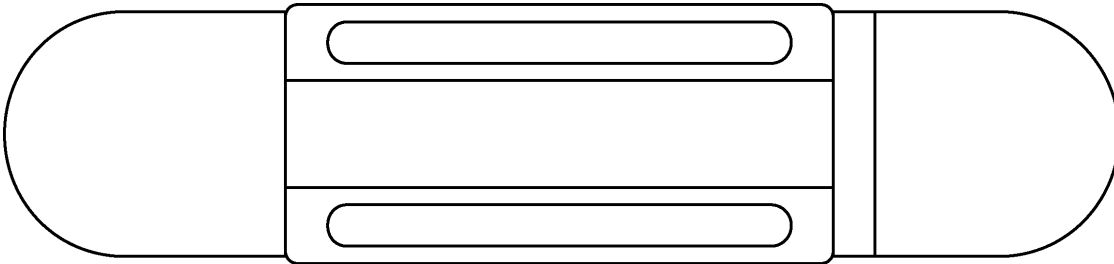
内部を点線で示したものであり、参考正面図3は、参考正面図2の断面図である。

【図面】

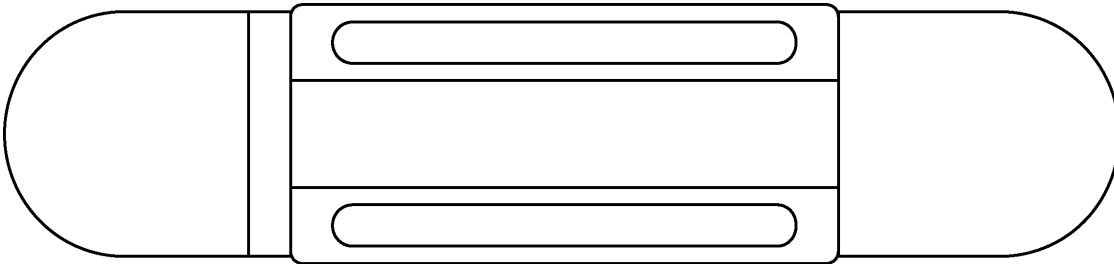
【正面図】



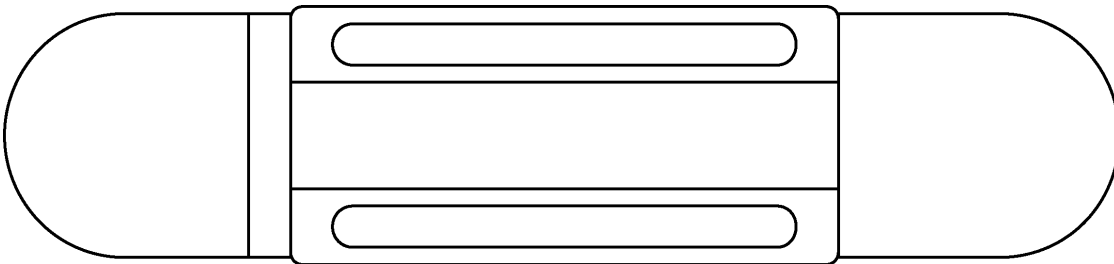
【背面図】



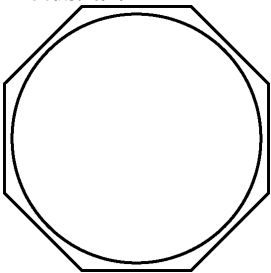
【平面図】



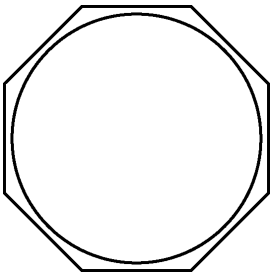
【底面図】



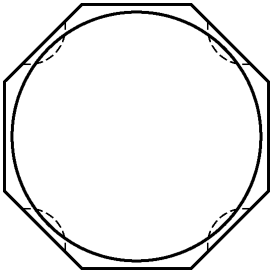
【右側面図】



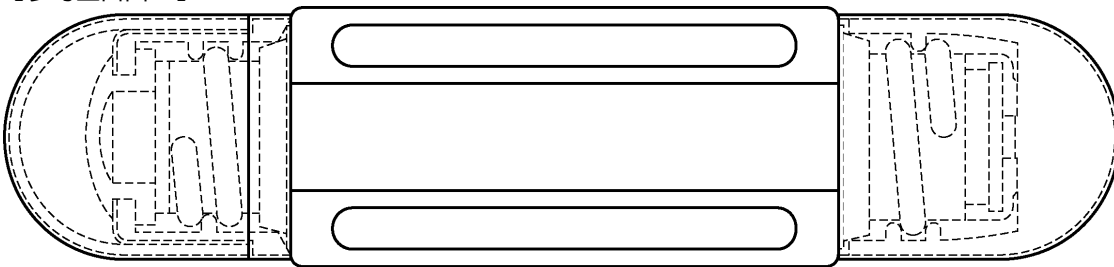
【左側面図】



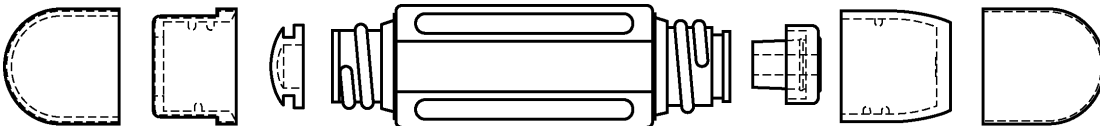
【参考右側面図】



【参考正面図1】



【参考正面図2】



【参考正面図3】

